

# J A グループ宮城 災害復興ニュース ( 総合版 )

第 4 6 号

【平成 24 年 11 月 5 日 (月) 発行】  
発行：J A グループ宮城災害復興本部  
編集：J A 宮城中央会  
〒980-0011 仙台市青葉区  
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F  
電話番号：022-264-8207  
FAX 番号：022-216-4466  
E-mail：jataisaku@gmail.com

## 《目次》

1. 宮城など 4 県 J A 中央会長らが、東電社長に早急な賠償金支払いを直訴
2. 国会議員ら招き 2012 年産みやぎの環境保全米試食会
3. 東京で 2012 宮城復興応援フェア。野菜や新米など販売
4. 農協共済総研が J A 宮城中央会に災害見舞金
5. 宮城県農高生が J A 学園宮城の敷地内に感謝の植樹

### 1. 宮城など 4 県 J A 中央会長らが、東電社長に早急な賠償金支払いを直訴

宮城、岩手、福島、栃木の 4 県中央会会長らは 10 月 4 日、東京都中央区の東京電力本社を訪れ、廣瀬直己社長に賠償金の早急な支払いを直訴しました。

要請書では、賠償金の支払い遅れで農家は毎月の生産資金に困窮し、特に畜産農家やシイタケ農家などは廃業を余儀なくされていると強調。請求分の即時本払い、煩雑な手続きの簡素化などを求めました。

これに対して廣瀬社長は「大変な迷惑をかけ申し訳ない。賠償については対応が遅い等、承っている。一日でも早く賠償をしていきたい」と答えました。

10 月 24 日に開かれた J A グループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会の第 15 回総会に出席した東電福島原子力補償相談室の橘田昌也部長は、肉牛の未払い分 32 億 5300 万円を 12 月中旬までに支払うことを表明しました。

なお、同協議会はこの日、東電への第 14 次請求を 14 億 2954 万 1351 円とすることを決め、10 月 31 日に請求しました。新たに、原木しいたけほだ木の廃棄に伴う損害 4376 万円、林産物の出荷停止に係る損害 3479 万円を盛り込みました。



## 2. 国会議員ら招き2012年産みやぎの環境保全米試食会

みやぎの環境保全米県民会議、JA宮城中央会、JA全農みやぎは10月5日、仙台市のJAビル宮城で、2012年産みやぎの環境保全米試食会を開きました。県民会議のメンバーや国会議員など約60人が参加。「ひとめぼれ」「ササニシキ」に加え、今年は初めて「つや姫」も加え、品種あてを楽しみながら新米を味わいました。

JAいしのまき産の「ササニシキ」は除塩田で栽培されたもので、参加者は復興の歩みを実感しながら、それぞれの味、香りを楽しみました。

## 3. 東京で2012宮城復興応援フェア。野菜や新米など販売

JAグループ宮城は10月29・30日の2日間、東京・大手町のJAビルにある農業・農村ギャラリーで環境保全米の新米や野菜などを販売する「2012年宮城復興応援フェア」を開きました。両日とも買い物をした先着200人に、新米「ひとめぼれ」2合をプレゼントしました。

震災を乗り越え、1年7ヵ月ぶりに出荷を再開したばかりの、JA仙台管内の岡田生産組合の「津波復興みそ」も販売され、人気を集めました。また、30日には宮城野豚「みのり」を使ったお弁当も販売しました。



## 4. 農協共済総研がJA宮城中央会に災害見舞金

社団法人農協共済総合研究所の今尾和實理事長ら6人が10月26日、視察研修でJA宮城中央会を訪れ、佐藤純一常務に災害見舞金を贈りました。一行は、JAグループ支援隊のメンバーとして宮城県を訪れ、JAいしのまき、JA仙台管内でボランティア活動に参加しました。

今尾理事長は「現場を見て大変な被害だったということを実感した。JAグループとして、今後も助け合っていきたい」と語りました。一行は、東日本大震災の被害状況と復旧・復興に向けての取り組みについて説明を受け、被災地の現状に理解を深めました。

## 5. 宮城県農高生がJA学園宮城の敷地内に感謝の植樹

宮城県農業高校は東日本大震災で被災し、自啓寮の42人が昨年5月から今年7月まで、代替寮として名取市のJA学園宮城で1年3ヵ月を過ごしました。お世話になったことに感謝し3年生10人が10月30日、同学園敷地内に八重桜の苗を植えました。

寮長の門間裕司さんは「被災した校舎にあったのと同じ八重桜を、お世話になったこの場所に植えられてうれしいです」と語りました。同校は宮城県農業大学校敷地内の仮設校舎で授業を行っており、寮生はJA学園宮城から引っ越した寮生は、農業大学校敷地内の仮設寮で暮らしています。